## 東北地方太平洋沖地震 鉄骨造建物の地震被害について

~震度7~6弱を記録した地域を中心に~

創成シミュレーション工学専攻/連集・デザイン工学科 物館 管部

### 気象庁(JMA) 震度階級





震度7~6弱:岩手~千葉まで広範囲に分布

### 鉄骨造建築物の被害報告\*

• 宮城県:仙台市,栗原市

(震度7, 6強)

•福島県:白河市,須賀川市,二本松市,

郡山市

(震度6強, 6弱)

• 茨木県:日立市, 鉾田市, 笠間市,

小美玉市, 水戸市, 那珂市

(震度6強, 6弱)

\*) 独立法人建築研究所「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震関係特設ページ, 建築物等被害調査(第1次調査)」(引用資料)

http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/20110311/index.html

### 宮城県での被害報告

仙台市,栗原市 (震度7,6強)





自走式駐車場の被害



柱脚部の損傷



ブレースの座屈

### 7~8階部分の外装材の落下



外装材落下によるけが人はない

### ガラスの落下・飛散



### 外装材の被害



ALC板ジョイント部での損傷



外壁材の脱落

# 外装材の被害 店舗看板の脱落











白河市,須賀川市,二本松市,郡山市 (震度6強, 6弱)



外装材の被害













外壁材の脱落 ALC板外壁の金面脱落

# 茨城県での被害報告

体育館の状況を中心に 日立市, 鉾田市, 笠間市, 小美玉市, 水戸市, 那珂市 (震度6強, 6弱)

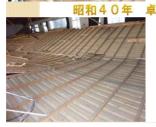






推損傷なし

昭和40年 卓球場の天井被害















昭和42年 体育館の内装被害



竣工したばかりの建物の被害



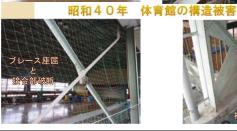














昭和47年 体育館の構造被害-1







昭和47年 体育館の構造被害-2





### まとめ-1

### ビル建物

- 構造材の被害はわずか
- 。柱脚部の損傷等
- 外装材の被害が顕著
- ∘ ALCパネルの脱落,タイルの剥落,ガラスの 飛散等が多数

### まとめ-2

### 体育館の被害

- 内装材(天井)被害
  - 天井下地が木製の場合は損傷の程度がひどい
- 構造被害
- 。年代の古い建物では,ブレース破断・ブレー スの座屈等の被害が多数
- 耐震補強された建物は構造被害は無く,内装 材の軽微な損傷程度

### 今後 • • •

重量の大きいALCパネルやガラスの外装材が落下することは極めて危険性が高い、また、内装材の落下も室内居住者に十分に危険である。

 $\downarrow$ 

外装材・内装材, そして非構造材についても耐震的な配慮や落下防止(フェールセーフ)の措置を講じることが望まれる.